

平成28年度 東京都小学校体育研究会 実証授業

表現運動系領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、
進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習

表現運動系領域部会 研究主題

リズムの特徴をとらえ、
工夫して踊ることができるリズムダンスの学習

研究仮説

リズムの特徴とリズムダンスのよい動きを明らかにし、課題解決的な授業づくりをすれば、踊りを工夫することができ、進んで運動に取り組む力を身に付けることができるであろう。

【実証授業】

日時 平成28年10月21日（金）

13:45～

場所 品川区立豊葉の杜学園

（最寄駅：東急大井町線 下神明駅）

単元名 表現運動 リズムダンス 3年生

「レッツ 豊葉ダンシング」

指導者 第3学年1組 山田 裕民 主任教諭



【本日の講師】

新宿区教育委員会 統括指導主事

こばやし りき
小林 力 先生

ホームページ <http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350006>

実証授業資料プロット

- | | |
|---------------------------|--------|
| I 研究の構想 | 1～3P |
| 1 研究主題 | |
| 2 主題設定の理由 | |
| 3 研究の視点 | |
| 4 研究仮説 | |
| 5 検証方法 | |
| 6 研究構想図 | |
| II 研究の内容 | 4～10p |
| 1 課題解決的な単元計画 | |
| 2 学習活動に即した評価 | |
| 3 リズム系ダンスの中学校との系統性 | |
| 4 リズムダンスの音楽の選曲 | |
| 5 リズムダンスのよい動きとリズムダンス4つの変化 | |
| 6 児童のつまずきの例とその支援 | |
| III 表現運動系の学習について | 11～17P |
| 1 2年間ごとの内容の構成 | |
| 2 2年間ごとの指導の目標 | |
| 3 2年間ごとの授業づくりのポイント | |
| 4 2年間の指導計画例 | |
| IV 「思考・判断」の指導内容 | 18～19P |
| 1 「思考・判断」の指導内容 | |
| 2 思考判断を促す言葉かけの例 | |
| IV 実証授業指導案 | 20～33P |

I 研究の構想

1 研究主題

東京都小学校体育研究会研究主題

「一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習」

表現運動系領域部会による（今年度はリズムダンスが研究対象）研究主題のとらえ方

「学ぶことの楽しさ」→リズムの特徴をとらえ、友達とかかわり合いながらよりよい動きで工夫して踊れるよう課題解決していくこと

「進んで運動に取り組む力」→リズムダンスに進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ろうとすること

表現運動系領域部会研究主題

「リズムの特徴をとらえ、工夫して踊ることができるリズムダンスの学習」

研究主題を構成するキーワード

リズムの特徴をとらえ

ロックの弾みや後打ち(アフタービート)、サンバの「ウンタッタ」のシンコペーションのリズムの特徴を感じて違いが分かること

工夫して踊る

- ・動きにアクセントを付けたり、ねじる・回るなどの動きを組み合わせたり、素早い動きやスローモーション、ストップモーションなどリズムに変化を付けたりして踊ること
- ・よい動きを知り、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れること
- ・だれとでも仲よく踊ること

2 主題設定の理由

昨年度の実証授業では1年生対象に「ゆうえんち」の題材で行った。

成果として、

- ・教師の言葉かけにオノマトペを効果的に用いることで、児童は題材の特徴をイメージして動きに表すことができた。
- ・「習得」の時間を1時間とって特徴的な動きを指導したことで、次時の「活用」では特徴的な動きでなりきったまま動きを工夫させることができた。
- ・「遊園地」の題材で、取り扱った小テーマは児童がイメージしやすいものを提案できた。

課題として

- ・1年生での簡単なお話づくりは、教師のリードでお話をつくってから児童に動きの場面の变化を選ばせて行う。併せて1、2年生の系統性を追求していく。
- ・「活用」の時間の簡単なお話づくりで、児童に踊りを工夫させるための手だてを幅広く考える。

以上のように、研究結果をまとめた。平成25年の全国大会で中学年、高学年の表現領域において、課題解決的な学習を行い、平成26、27年と低学年の表現遊びにおいて、動物、乗り物の題材で課題解決的な学習の授業提案を行い、系統立てて指導することで成果を得ることができた。今年度は、以

下の理由により、中学年「リズムダンス」を研究対象として取り上げることとした。

- ・本部会で「リズムダンス」のみの提案授業を平成12年以降行ってきていない。
- ・中学校でのダンス領域が必修となり、小中学生の中でダンスが身近になり、興味関心が高まってきている。
- ・自己表現やコミュニケーションの力を育成することが図られる表現運動系の学習に注目が集められ、研究対象にする学校が多くなってきている。

以上のような背景を考慮して、今年度は、中学年における「リズムダンス」において、課題解決的な学習の提案が行えるよう研究を進めていく。

本部会では、「リズムの特徴をとらえること、よい動きを知って、友達の良い動きを自分の踊りに取り入れること」を「思考・判断」とし、この「思考・判断」の力が、リズムに乗って全身で踊るという「技能」や運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊るという「態度」と関連し、「進んで運動に取り組む力」につながると考え、本研究主題を設定した。

3 研究の視点

- (1) 課題解決的な単元計画
- (2) 学習活動に即した評価
- (3) リズム系ダンスの中学校との系統性
- (4) リズムダンスの音楽の選曲
- (5) リズムダンスのよい動きと引き出す支援

4 研究仮説

リズムの特徴とリズムダンスのよい動きを明らかにし、課題解決的な授業づくりをすれば、踊りを工夫することができ、進んで運動に取り組む力を身に付けることができるであろう。

5 検証方法

- (1) 実証授業を行った学級の児童への意識調査(学習後のアンケート)
- (2) 授業記録をもとにした動きと言葉かけの分析

東京都小学校体育研究会研究主題

一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習

昨年度までの研究の成果と課題

○成果

- ・題材の特徴を動きに表せるための教師の言葉かけの工夫
- ・表現運動における課題解決的な単元計画の提案
- ・低学年の児童がイメージを動きにしやすい題材の提案

●課題

- ・表現遊び低学年における簡単なお話づくりの系統性の追求
- ・踊りを工夫させるための多様な手立ての確立

研究主題具体化のための基礎研究

- ◇学習指導要領及び解説書
学校体育実技指導資料 第9集
- ◇リズムダンスの特性、動きの分析
- ◇リズムに乗りやすい曲の選曲
- ◇リズムダンスにおける「思考・判断」の明確化
- ◇中学校との系統

表現運動系領域部会研究主題

「リズムの特徴をとらえ、工夫して踊ることができるリズムダンスの学習」

研究の仮説

リズムの特徴とリズムダンスのよい動きを明らかにし、課題解決的な授業づくりをすれば、踊りを工夫することができ、進んで運動に取り組む力を身に付けることができるであろう。

研究の内容

- (1) 課題解決的な単元計画
- (2) 学習活動に即した評価
- (3) リズム系ダンスの中学校との系統性
- (4) リズムダンスの音楽の選曲
- (5) リズムダンスのよい動きと引き出す支援

実証授業 3年生 リズムダンス 「レッツ 豊葉ダンシング」

まとめ ○授業分析 ○意識調査の変容 ○研究仮説の検証

II 研究内容

1 課題解決的な単元計画

- ・リズムダンスのよい動きを身に付けて工夫して踊れるようにすることを課題として解決するために「習得」「活用」「探究」の学習の流れの単元計画を作成する。中学年2年間における学習内容の系統性を踏まえて作成する。
- ・リズムダンスの専門家を講師に招いて実技研修会を開き、リズムダンスの授業の進め方や指導と評価のポイントを学んだ上で単元計画を作成する。

課題解決的な単元計画

- ・習得の時間には、教師のリードでへそを軸にリズムをのることを意識させた上で、全身で弾んだり、体をひねったり、回ったりするなど踊り方を習得させていく。また、一緒に踊る中で、場所を移動したり、踊るリズムを変化させたりするなどの踊り方の工夫も習得させていく。
- ・活用の時間には、2、3人で習得の時間で身に付けたリズムの乗り方や踊り方で即興的に踊る。この中で、友達のよい動きに着目させ、自分の動きに取り入れられるよう支援する。
- ・探究の時間には、ダンス交流会を開き、今まで踊って楽しかった曲を選んで全員で踊り、友達のよい動きを見合って踊ることで動きの工夫の仕方を深める。

2 学習活動に即した評価

1, 2年生 表現リズム遊び

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○「どうぶつランド（遊園地）」の表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 ○運動する場の安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現遊びやリズム遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。 ○動物（遊園地の乗り物）やロック、サンバなどのリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表現遊びでは、いろいろな動物（遊園地の乗り物）の特徴を捉え、全身で踊ることができる。 ○リズム遊びでは、ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って踊ることができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って踊ったり、いろいろな動物（乗り物）になりきって踊ったりすることに進んで取り組もうとしている。 ②学習のきまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 ③友達とぶつからないように安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバのリズムに合った動きを見付けたり選んだりしている。 ②動物（遊園地の乗り物）の特徴や様子をとりえた具体的な動きをいろいろ見付けたり選んだりしている。 ③友達のよい動きを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバなどの軽快なリズムに乗って自由に踊ることができる。（友達と関子を合わせて踊ることができる。） ②動物（遊園地の乗り物）の特徴をとらえ、全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけたり、急変する場面を入れたりして簡単なお話にして（続けて）踊ることができる。
学習の手立て	リズム遊びについて <ul style="list-style-type: none"> ①児童にとって親しみのあるロックやサンバのリズムの曲を複数用意する。 ②教師が遊びの中で意図的に学習のペアを変える。 ③児童が安全に気を付けるよう、注意喚起する。 	リズム遊びについて <ul style="list-style-type: none"> ①教師のリードで、リズムの特徴をとらえさせる。 ②児童の中からよい動きを見付けて全体に紹介する。 	リズム遊びについて <ul style="list-style-type: none"> ①教師のリードで、体幹部（へそ）や体の各部位でリズムに乗せて踊らせたり、いろいろな動きをまねさせて踊らせたりする。

3, 4年生 リズムダンス

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	<p>○ロックやサンバのリズムの特徴を捉えて踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、リズムダンスに進んで取り組もうとしている。</p> <p>○リズムダンスの行い方やきまりを守り、友達とかかわって踊ろうとしている。</p> <p>○運動する場の安全を確かめようとしている。</p>	<p>○ロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題を選んでいる。</p> <p>○よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。</p>	<p>○ロックやサンバの軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。</p>
学習活動に即した評価	<p>①リズムダンスに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②(友達と励ましあい)誰とでも気持ちよく踊ったり交流したりしようとしている。</p> <p>③友達とぶつからないように安全を確かめながら踊ろうとしている。</p>	<p>①ロックやサンバのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴を捉えた動きを見付けている。</p> <p>②よい動きを知り、友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れている。</p>	<p>①ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。</p> <p>②(友達と調子を合せたり、対応したりして踊ることができる。)</p>
学習の手立て	<p>①リズムに乗りやすく、スキップできる速さをめやすに複数の曲を用意する。</p> <p>①②③毎時間「心と体のほぐし」を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間集め ・円形コミュニケーション ・即興ダンス 	<p>〈習得〉</p> <p>①教師のリードで、ロックの「ウンタ、ウンタ」のリズム、サンバの「ウンタッタ」のリズムの特徴を捉えさせる。</p> <p>また、動きの工夫の視点を示して動きを広げさせる。</p> <p>②よい動きを全体に紹介する。</p>	<p>〈活用〉</p> <p>①2人1組で、互いにリーダーを交代しながら、リズムに乗って自由に踊らせる。</p> <p>①タンブリン等の合図で、ペアを換えていろいろな友達と関わらせる。</p>

3 リズム系ダンスの中学校との系統性（高学年は、フォークダンスのため省略）

	小学校低学年 リズム遊び	中学年 リズムダンス	中学校 現代的なリズムのダンス
技能	・ <u>軽快なリズムに乗って踊る。</u>	・ <u>軽快なリズムに乗って全身で踊る。</u>	・ <u>リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ</u> て、リズムに乗って全身で踊るための動きができる。 ・ <u>オリジナルダンスを作る。</u>
態度	・ <u>進んで運動に取り組む、だれとでも仲よく踊ったり場の安全に気を付けた</u> りすることができるようにする。	・ <u>進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表を</u> したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	・ダンスの学習に <u>積極的に</u> 取り組もうとしている。 ・ <u>よさを認め合おう</u> としている。 ・健康、安全に留意している。
思考・判断	・ <u>簡単な踊り方を工夫</u> できるようにする。	・自己の能力に適した <u>課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫</u> できるようにする。	・ <u>自分の興味・関心にあ</u> った踊りを設定している。 ・ <u>課題に応じた練習方法</u> を選んでいる。 ・発表の場面で、 <u>仲間のよい動きを指摘</u> している。
扱う曲	・ <u>弾んで踊れるようなやや早いテンポのロックやサンバ</u> などの軽快なリズムの曲	・ <u>弾んで踊れるロックやサンバ</u> のリズムの曲 ・ <u>いろいろな速さや曲調の異なるロックやサンバ</u> のリズムの曲	・ <u>ロックやヒップホップ</u> などの現代的な曲

- ・技能…中学年で「全身」で踊る、中学校では「変化のある動き」「オリジナルダンス」など、創作的なダンスへ
- ・態度…小学校低学年・中学年では「だれとでも仲よく」 中学校では「よさを認め合う」
- ・思考・判断…低学年では「踊り方の工夫」中学年で「課題の発見」、「練習の仕方の工夫」中学校では「課題に応じた練習方法の選択」「仲間のよい動きの指摘」

4 リズムダンスの音楽の選曲

リズムダンスは音楽との関係が深く、「リズムダンスの授業のどの場面で、どんな音楽をどのように使うか」といった選曲の問題は、リズムダンスの授業の成否の鍵を握る重要な要因ともなる。そこで、中学年リズムダンスで使用するロック、サンバのリズムの特徴を下表に記し、授業で使用する曲を選ぶ上でのめやすやポイントをまとめた。

○リズムの特徴と乗り方(動き)の工夫のポイント *BPMとは1分間のビート(拍)の数を示し、曲の速さ(テンポ)の目安となる。

リズム	リズムの小分類とその特徴	リズムの乗り方や動きの工夫のポイント
ロック	<p>アップテンポ(BPM140~150)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾んで踊れるテンポで初心者にも踊りやすくどんな動きでも対応できる。 <p>ややゆっくり(BPM120~130)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩くテンポ、強いビートに乗せたステップ系の動きが中心となる。 <p>かなり速いテンポ(BPM150以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駆け足のテンポ ・ユーロビートの曲を含む 	<p>○リズムに同調して全身で(体幹部で)リズムを捉えてその場で弾んで踊ったり、スキップしたりして移動を加えて踊る。手をつないで回ったりハイタッチしたりして掛け合って踊る。</p> <p>○アフタービート(後打ち)のリズムでアクセントをつけて踊る。回る、跳ぶ等の動きで変化をつけて相手と対応して踊る。アップテンポの曲より体幹部でリズムに乗るのは難しい。</p> <p>○リズムに合わせて単純な動きを繰り返して踊るにはよい。体幹部でリズムに乗ったり、いろいろな動きで変化をつけたりするにはテンポが速すぎて適さない。</p>
サンバ	<p>ややゆっくり(BPM120~130)からアップテンポ(BPM140~150)まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウン・タッタ」の2拍の中にリズムの変化(シンコペーション)があり、打楽器の小刻みなラテンのリズムと陽気な感じが特徴。 	<p>○打楽器の小刻みなリズムを体の各部位で取って踊る。</p> <p>○腰(おへそ)の前後揺れとシンコペーションの特徴をつかんで踊る。</p> <p>○ロックと同様に動きに変化やアクセントをつけたり、相手との対応の仕方を工夫したりしているような動きで踊る。</p>

引用文献「学校体育実技指導資料 第9集 表現運動系及びダンス指導の手引」文部科学省

～ポイント～

- 授業で取り上げるリズムの特徴と学習のねらいにふさわしい曲で、子どもの関心や力にあった曲を選ぶ。
- 軽快なロックの曲では、BPM140前後のやや速めの弾んで踊れる曲がふさわしく、速すぎると体幹部(おへそ)で乗れなくなるので要注意。
- まずは、リズムに乗って全身で弾んで踊る楽しさを味わうことができるように、軽快でリズムのとりやすいロックと、ラテン系の陽気なリズムに乗って弾んで踊りやすいサンバのリズムを取り上げる。
- 弾んで踊ることに慣れたら、いろいろな速さや曲調の異なるロックやサンバのリズムの曲で、ねじる・回るなどの動きや素早い動き、ストップなどのリズムの変化をつけたり、ロックの弾みや後打ちやサンバの「ウン・タッタ」のシンコペーションのリズムの特徴を捉え、体の各部位でリズムをとったり、体幹部(おへそ)を中心にリズムに乗ったりして、1曲通して踊り続けるようにする。
- リズムの特徴がはっきりしていて、リズムやビートが取りやすく、テンポがやや速いもの(走ったりスキップしたりできるテンポ)や、ゆっくりしたもの(歩いたり左右にゆれたりできるテンポ)の両方を用意しておく。

本部会が選ぶ選曲リスト

♪…軽快な曲

☆…ビートの強い曲

曲名	アーティスト名	商品 ID
ロック調		
♪ Everybody Jam!	Scatman John	BVCP-937
♪ Scatman's World	Scatman John	BVCP-7479
♪ 5,6,7,8	Steps	AVCD-11917
♪ GUTS!	嵐	JACA-5402
♪ 以心電信	ORANGE RANGE	
♪ Shake It Off	Taylor Swift	POCS-24009
☆ Call Me	Blondie	(B00005GKJZ)
Happy	Pharrell Williams	SICP-4129
☆ Girls Just Want To Have Fun	Cyndi Lauper	MGM009
☆ Morning Train	Sheena Easton	(B00000JQIL)
♪ I Want You Back	The Jackson5	B002PQ1PDI
♪ Ob-La-Di, Ob-La-Da	The Beatles	
☆ おしゃれ番長	ORANGE RANGE	SRCL-6891
♪ チャンピオーネ	ORANGE RANGE	SRCL-6263
♪ Girlfriend	Avril Lavigne	BVCP-29620
☆ U Can't Touch This	MC Hammer	B000921K4
♪ shake	SMAP	VICL-60726
♪ JOY!!	SMAP	VICL-38033
♪ アゲハ蝶	ポルノグラフィティ	SRCL-5104
♪ 1・2・3・4 Gimme Some More	D.D.Sound	1987339
♪ Rock Around The Clock	Bill Haley&His Comets	XAT-1245482644
♪ Crazy Beat Goes On	DA PUMP	BOOXAQSE
☆ Beat It	Michael Jackson	
♪ フラッシュ	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	
♪ ブギーマン	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	
♪ The World is ours	ナオト インティライミ	UMCK-5474
☆ What the Well	Avril Lavigne	SICP-2777
♪ Call Me Maybe	カーリー・レイ・ジェブセン	B001681032
☆ Live While We're Young	One Direction	88725473062
☆ What Makes You Beautiful	One Direction	
サンパ調		
サンバ・デ・ジャネイロ	ベリーニ	TOCP-65192
カップ・オブ・ライフ	リッキー・マーチン	ESCA-6992
ボラーレ	ジブシーキング	SRCS-2384
マカレナ	クラブディズニー スーパーダンシンマニア	AVCW-12078
風になりたい	THE BOOM	SRCL-3095
ステップ・トゥ・ステップ	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	
トゥギャザー	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	
リオ2010	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	
マカロニサンバ	表現運動・ダンス CD1 共同テレビジョン	

5 リズムダンスのよい動きとリズムダンス4つの変化

リズムダンスのよい動きとは、「全身でリズムに乗って弾んで踊っているか」である。振りを習い、覚えて踊るのではなく、創造的で自由に踊ることがよい動きにつながっていく。自由に踊るときヒントとして、「4つの変化」がある。「変化」が入ると、リズムの乗り方や動きに変化が生まれ、とぎれずに踊り続けることができる。よい動きを引き出すための例として以下の4つに整理した。（「習得」の場面で体験させ動きの多様性を学ばせる。）

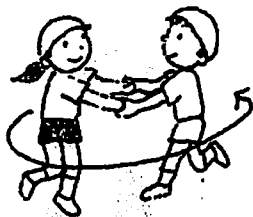
動きの変化

ねじったり、回ったり、体の状態をいろいろ変えてみる。（極限の動きが非日常の動きになる）

体をねじる



体を回す



ねじって回るなど組み合わせ合わせて踊る。

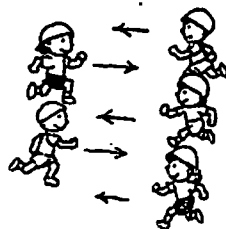


跳ぶ。体の状態をいろいろ変えてみよう。

空間の変化

方向や場の使い方の変化。心身の解放は、まず「空間の変化」から。

スキップで移動



人のいない所へ。自分の居場所をつくらなようにしよう。

リズムの変化

素早く、ゆっくり、ストップ、巻き戻し等。（リズムの速さの変化がメリハリのある動きへ）

リズムに乗って弾む



素早い動き



ストップ

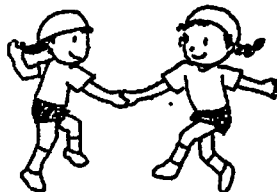


リズムをくずす瞬間をつくり、リズムへの乗り方を深めよう。

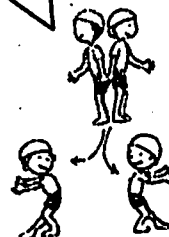
かかわりの変化

手をつないだり、離れたり、くっついたり、くぐり抜けたり、1人ではできない動きに挑戦。

友達と手をつなぐ



くっついたり離れたり








友達と調子を合わせたり対応したり



1人ではできない動きに挑戦しよう。いろいろな関わり方で踊ろう。

6 児童のつまずきの例とその支援

つまずき例	目指す児童の姿	具体的な支援例
その場でちいさくジャンプしているだけで、動きに変化がない。	おへそ（体幹部）を軸にしていろいろな方向に体が向くように踊る。 <div data-bbox="592 443 911 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○さんは、おへそをねじっているね。 </div>	よい動きを共有し、全体に価値付けるようにする。 <div data-bbox="947 383 1056 573" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="1094 398 1419 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> おへそをいろいろな方向に向けてみよう。 </div>
いつも同じ向きで踊っている。	友達とリズムを合わせて回ったり、手をつないで回ったりする。 <div data-bbox="675 741 911 853" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 髪の毛の先まではずませよう。 </div>	友達と手をつないで踊ろう。どんな踊りができるかな。 <div data-bbox="947 685 1166 909" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="1204 719 1419 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 回る動きを入れたら、おもしろくなったよ！ </div>
同じ場所で踊っている。	人のいないところの空間を使って移動しながら踊っている。 <div data-bbox="529 1077 911 1144" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> スキップで移動してみよう！ </div>	人のいないところへ移動しよう！ <div data-bbox="931 931 1056 1155" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="1094 1055 1419 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の居場所をつくらないうようにしよう！ </div>
リズムに乗って弾むことができない。	おへそ（体幹部）を上下に揺らして、リズムをとることができる。	教師が良い手本と良くない手本を見せ、ちがいを意識させる。 <div data-bbox="931 1256 1088 1402" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="1125 1279 1419 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> こっちの方がおへそが動いていたよ！ </div>
子供たちが同じ動きばかりに偏ってしまう。	いろいろな動きを組み合わせさせてリズムの変化にメリハリがある動きができる。 <div data-bbox="667 1682 911 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> ストップ！ </div> <div data-bbox="605 1771 911 1839" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> ゆっくり動くよ～！ </div>	一度ストップさせて、動きの工夫の視点を与える。 <div data-bbox="931 1503 1419 1626" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○○さんは、こんな動きをしていたよ。どんなところが良かった？ </div> <div data-bbox="931 1626 1056 1839" style="float: left; margin-right: 10px;">  </div> <div data-bbox="1094 1637 1419 1839" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 動きをスローモーションにしたり、急に止まったりする工夫を入れてみよう！ </div>
曲にのれない。曲が変わると走り回ってしまう。	手をつないだり、離れたり、くっついたり、おへそでリズムをとって踊る。友達を意識した動きで踊る。	円型コミュニケーションで、はじめはあくらで座る。 <div data-bbox="947 1962 1419 2074" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> おへそを上下左右いろいろな方向へ動かしてみよう。そのまま立ってみよう。 </div>

Ⅲ 表現運動系の学習について

1 2年間ごとの内容の構成 ●題材の例示

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p>表現遊び 身近な題材の特徴をとらえて全身で踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鳥、昆虫、恐竜、動物園など動物や飛行機、遊園地の乗り物など 	<p>表現 題材な主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「具体的な生活からの題材」 「〇〇づくり」「1日の生活」など ●「空想の世界からの題材」 「ジャングル探検」「海底探検」「宇宙探検」「氷の世界」など 	<p>表現 いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「激しい感じの題材」 ●「群(集団)が生きる題材」 ●「多様な題材」 「私たちの地球」「小学校の思い出」など
<p>リズム遊び 軽快なリズムに乗って踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●弾んで踊れるようなやや速いテンポのロックやサンバなどの軽快なリズムの曲 	<p>リズムダンス 軽快なリズムに乗って全身で踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●弾んで踊れるロックやサンバのリズムの曲 ●いろいろな速さや曲調の異なるロックやサンバのリズムの曲 	<p>フォークダンス(民踊を含む) 踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の民踊:阿波踊り・ソーラン節・エイサーなど ●外国のフォークダンス:マイマ・イム、コロブチカ、グスタフス・スコール

2 2年間ごとの指導の目標

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
技能	身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。	身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせで踊ること	いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。
態度	運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
思考・判断	簡単な踊り方を工夫できるようにする。	自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。	自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。

3 2年間ごとの授業づくりのポイント

【全学年共通のポイント】

- ① ウォーミングアップで、心と体を十分にほぐし、自然に踊る体をつくっていく。
- ② 「表現遊び・表現」では、発達段階に即し、動きの特徴をはっきりととらえやすい題材を取り上げる。

習得の時間に、教師のリードで題材の特徴のイメージをしっかりととらえさせて動くように指導する。

活用の時間に、習得の時間で身につけさせた動きを生かしたり繰り返したりして動くように指導する。

探求の時間に、今まで踊ってきた小テーマから好きなイメージを選び、リズム・空間・かかわりなどを変化させて、よりよい動きを工夫するよう指導する。

- ③ 「リズム遊び・リズムダンス」では、体幹(へそ)を動かすことを意識させる。
- ④ (教師が見つけた)題材の特徴をとらえたよい動きを紹介したり、互いの動きを見せ合う場を設定してよい動きに気付かせたりする。
- ⑤ 教師は、題材のイメージがより具体的にはっきりするよう、オノマトペを使った声かけを行う。

【低学年の授業のポイント】

ものになりきって動き、想像の世界を楽しむことが好きな時期。

- ・毎時間「表現遊び」と「リズム遊び」の両方を行う。「リズム遊び」は15分程度。
- ・「表現遊び」は、イメージカルタを使って、誰もがイメージをもち、たくさんの種類の動きを経験できるようにする。

【中学年の授業のポイント】

複数の友達と一緒に踊ることが楽しい時期。

- ・ペアになって対応したり対立したりして相手を感じて動く題材を取り入れる。
例 「凧と人」「うそのけんか」など
- ・1番表したいことの前後に簡単な「はじめ」と「おわり」をつけて、変化のある「ひと流れ」の動きを踊るようにさせる。
- ・「リズムダンス」では、軽快なリズムのロックやサンバの曲を複数用意し、リズムの特徴をとらえて、体幹を(へそ)を中心に弾むことを意識させ、続けて踊るようにさせる。

【高学年の授業のポイント】

踊ることへの恥ずかしさや抵抗感が出てくる時期

- ・「激しい感じの題材」で思い切り体を動かして恥ずかしさを軽減する。
- ・「走る一歩」などの動きの課題から始め、誰もができる動きをすることで安心感を与えるようにする。
- 「フォークダンス」では、伝承されてきた踊りを身につけて、そのダンスの特徴を出してみんなで交流して踊る。

第4学年 好きなリズム(曲)を選んで踊って交流する学習

時	1	2	3	4	5	6
	軽快なロック、 ビートの強いロック、サンバ		固定したグループが、今まで学習に使った曲や 児童がもち寄った曲の中から1曲選ぶ。		ダンス交流会	
学習活動	教師のリードでリズムの特徴をつ かんで踊る。 習得		4~6人組で即興的に続けて踊る 30秒程度の即興ダンスにまとめる 活用		人気の高かった4曲を メドレーにしてみんなで 踊る。	
	2~4人組で即興的に続けて踊る。 活用		他の4~6人組と一緒に、各グループ が作った即興ダンスを踊る。 ダンス交流会で踊る1曲を選ぶ。 探究		今までの踊りを組み合 わせたり前時までで他 のグループと交流して 学んだことを取り入れ たりする。 探究	
					人気の高かった4曲を メドレーにして、みんな で踊る。 前時にみんなで踊った ことを生かして、よい動 きを取り入れて踊る。 探究	

第4学年 具体的な生活からの題材で踊る学習

時	1	2	3	4	5	6
	リズムに乗って楽しむ		即興的に表現して楽しむ		工夫して楽しむ	
小テーマ	おかし・パン・めんづくり	魚や貝でつくろう	おなべでつくろう	はりきりクッキング		
学習活動	実物や教師の提示したテーマで 即興的に表現して、楽しむ。 習得		2人で対応する動きを繰り返して、 即興的に踊る。 イメージカルタを使って、即興的に 活用		差のある動きを入れて誇張して、 即興的に踊る。 思い浮かんだ イメージを広げ 探究	
					イメージをもとに、 ミニ作品を作る。	
	友達と動きを見合い、よい動きを取り上げる よい動きを共有しながら、即興的に踊る					

○高学年 フォークダンス
第5学年 「簡単なフォークダンスを踊って交流しよう」

時	1	2	3	4	5	6
踊り	次の外国のフォークダンスから複数のダンスを選んでみんなで楽しく踊る。 ①マイム・マイム (イスラエル) …砂漠地帯の開拓農民が水源を発掘したことを祝った踊り。かけ声で楽しく踊る。 ②コロブチカ (ロシア) …曲名は広いロシアを旅して歩く「行商人の荷」という意味。 *パートナーと息を合わせて軽快に踊る。 ③グスタフス・スコール…曲名は「グスタフ王乾杯」という意味。王様の栄誉をたたえた踊り。前半の貴族の優雅な踊りと後半の楽しげな農民のイメージの違いを出して踊る。					フォークダンス交流会 学習した踊りを思い出しながらメドレーで踊って交流する。
学習活動	例「マイム・マイム」教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 習得		例「コロブチカ」教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 習得			学習した踊りの特徴を意識しながらみんなで踊って交流する。 探究
	踊りの特徴 (かけ声をかけて喜びを表す)をとらえてみんなで踊る。 活用		踊りの特徴 (パートナーと息を合わせて軽快に)をとらえてみんなで踊る。 活用			

第6学年 「簡単なフォークダンスを踊って交流しよう」

時	1	2	3	4	5	6
踊り	日本の代表的な民踊や郷土の踊りからみんなで楽しく踊る。 ①阿波踊り…徳島城の落成を祝って城下の住民が踊った踊り。男踊りと女踊りの特徴の違いを出して踊る。 ②ソーラン節…北海道の日本海沿岸でのニシン漁の際に追われた唄が発祥元。漁師たちの力強く躍動感あふれる姿をイメージして踊る。					フォークダンス交流会 学習した踊りを思い出しながらメドレーで踊って交流する。
学習活動	「阿波踊り」を教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 習得		「ソーラン節」教師のリードで踊りの振りを身に付けて踊る。 習得			学習した踊りの特徴を意識しながらみんなで踊って交流する。 探究
	踊りの特徴 (男踊りと女踊りの違い)をとらえてみんなで踊る。 活用		踊りの特徴 (網を力強く引っ張る動き)をとらえてみんなで踊る。 活用			

高学年では、リズム系ダンスとしてフォークダンスを扱う。

中学年での、即興的に自由に踊る「リズムダンス」と異なり、フォークダンスでは、踊りの特徴を捉え、簡単な振りを身に付けて友達と交流しながら踊る。

それぞれのフォークダンスには由来や振りに意味があるので、その特徴を捉えて踊るようにする。

第5学年では、比較的振りの平易な外国のフォークダンスを、第6学年では日本の代表的な民踊を踊る。

○高学年 表現
第5学年 「対決！」(激しい攻防・追いつ追われつの表現)

時	1	2	3	4	5	6	
踊り	「対決！」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。				好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。		
小テーマ	イメージ作り	2人の戦い	追いつ追われつ	危機一髪!○○			
学習活動	リズムダンスで、心と体をほぐす。						
	○「対決」からイメージすることを出し合う。 ○出し合ったイメージからいくつか選んで即興的に踊ってみる。	教師のリードで、小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかやってみる。			習得		
		小テーマから好きなイメージを選び、習得の時間の動きを生かしてひと流れの動きにして踊る。			活用		
今まで踊った小テーマから一番表したいものを選び、グループを作って、イメージが強調されるように、「はじめ～なか～おわり」のひとまとまりの動きにして踊る。見せ合って、アドバイスを受けてさらに動きを工夫する。						探究	

第6学年 表現「大変だ!○○」(激しい感じの表現)

時	1	2	3	4	5	6	
踊り	「大変だ!○○!」のいろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。				好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。		
小テーマ	イメージ作り	身近な生活編	自然・社会編	群が生きる内容編			
学習活動	リズムダンスで、心と体をほぐす。						
	○運動課題「走る～跳ぶ」からイメージすることを出し合う。 ○出し合ったイメージからいくつか選んで即興的に踊ってみる。	教師のリードで、急変する場面を入れながら激しい感じの動きをいくつかやってみる。			習得		
		小テーマから好きなイメージを選び、習得の時間の動きを生かしてひと流れの動きにして踊る。			活用		
今まで踊った小テーマから一番表したいものを選び、グループを作って、イメージが強調されるように、「はじめ～なか～おわり」のひとまとまりの動きにして踊る。見せ合って、アドバイスを受けてさらに動きを工夫する。						探究	

中学校での現代的なリズムのダンスへの系統性を考え、高学年では、心と体のほぐしとしてリズムダンスを取り入れる。

高学年の表現は、第1時で題材のイメージを出し合い、第2時から小テーマからイメージを動きにしていく。

第5学年では対立する二つの動きを扱い、第6学年では激しい感じを題材として扱う。

踊ることへの恥ずかしさが出てくる第6学年では、運動課題からイメージを出させる。また、群を生かしたよりダイナミックな動きにする。

探究の時間には、お気に入りのテーマで踊り、見合いを通してアドバイスを生かしてさらによいにしていく。

1 「思考・判断」の指導内容

「思考・判断」の指導内容（リズムダンス）

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年および第6学年
思考判断の目標	「ゆうえんちへいこう」の表現リズム遊びの行い方を知り、楽しく踊るための動きを見付けたり、友達のよい動きを見付けたり、友達のよい動きを見付けたりすることができるようにする。	ロックやサンバなどのリズムの特徴を捉えた動きのポイントやよい動きを知るとともに、自分に合った課題やリズムを選んだり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりすることができるようにする。	課題の解決の仕方や自分のグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じて動きをよりよくしたり、自分やグループのよさを生かしたりすることができるようにする。
単元の評価規準	○表現遊びやリズム遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。 ○遊園地の乗り物等やロックやサンバなどのリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。	○ロックやサンバなどのリズムの特徴を捉えた動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題やリズムを選んでいる。 ○よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。	○課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じて動きをよりよくしている。 ○自分やグループのよさを知るとともに、練習や交流会で自分やグループのよさを生かしている。
学習活動に即した評価規準	①ロックやサンバなどのリズムに合った動きをいろいろ見付けたり選んだりしている。 ②遊園地の乗り物等の特徴や様子をとらえたり具体的な動きをいろいろ見付けたり選んだりしている。 ③友達のよい動きを見付けている。	①ロックやサンバなどのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。 ②ロックやサンバから好きなリズム(曲)を選び、友達のよい動きを取り入れたり、新たな動きや変化のつけ方を工夫したりしている。	①自分やグループの課題に応じた練習の仕方を選んでいる。 ②踊りの特徴の出し方を考えたり、交流の仕方を選んだり工夫したりしている。

※第5学年及び第6学年のフォークダンスは参考

2 思考・判断を促す言葉かけの例

【リズムダンスのよい動きとは】

リズムに乗って 全身で弾んで 即興的に踊る

・ロックやサンバのリズムの特徴をとらえる。
 ・アクセントをつける。

体幹部や身体各部位（髪の毛の先）まで乗って踊る。

型や順序がなく思いつくままに踊る。

友達とかかかわって 自由に踊る

・友達とまねし合ったり反対の動きをしたりする。
 ・くっついたりはなれたり、手を取り合ったりして踊る。

・移動したり近づいたり広がったり高低をつけたりして、1曲通して途切れずに踊る。

【思考・判断を促す言葉かけ例】

☆活用の場面の例



〇〇さんのリズムの乗った体の動かし方がいいですよ。特に、腰の辺りを見てもらえん。

他にも友達のよい動きを見つけたらまねして動いてみよう。

〇〇さんは、おへそを上下に弾ませたり色々な方向に動かしたりしているのがいいな。

途中でストップやスローーションにしているのもいいな。



☆振り返りの場面の例



友達のどんなところをまねしてみたいなと思いましたか？

それぞれのリズムで踊る時にどんなことを工夫して踊りましたか？

〇〇さんのくっついたり、離れたりをまねして踊りたいです。

「ウンタッタ」のリズムでおへそを動かしているのが上手でした。

音楽をよく聞いて、リズムが変わった時に体の動かし方を変えました。



第3学年 体育科学習指導案

日時：平成28年10月21日（金）

第5校時（13：45～14：30）

場所：豊葉の杜学園 武道場

対象：第3学年1組 32名

指導者：主任教諭 山田 裕民

(1) 単元名 表現運動 リズムダンス「レッツ 豊葉ダンシング」

(2) 単元の目標

- ① 軽快なリズムに乗って全身で踊ることができようにする。(技能)
- ② リズムダンスにすすんで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- ③ リズムダンスの動きのポイントやよい動きを知るとともに、自分に合った課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫することができるようにする。(思考・判断)

(3) 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、リズムにすすんで取り組もうとしている。 ・ リズムダンスの行い方や決まりを守り、友達と励まし合って練習や交流をしようとしている。 ・ 運動する場の安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロックやサンバのリズムの特徴をとらえた動きのポイントを知るとともに自分に合った課題を選んでいる。 ・ よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロックやサンバの軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。
学習に即した評価規準	<ol style="list-style-type: none"> ① 運動にすすんで取り組んでいる。 ② 友達と励まし合い、誰とも気持ちよく踊ったり交流したりしようとしている。 ③ 場の安全を確かめながら踊ろうとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ロックやサンバのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。 ② よい動きを知り、友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ロックやサンバのリズムダンスの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。

(4) 表現 リズムダンスの特性

～児童からみた機能的特性～

- ・心と体を解き話し、リズムやイメージの世界に没頭して踊るところに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- ・他との違いを個性としてとらえ、お互いの良さを認め合うことのできる運動である。
- ・仲間とかかわって踊ることで、心の交流ができる運動である。

(5) 児童の実態

本学級の児童は、体育科の学習に対して意欲的に取り組む児童が多い。1学期に行った多様な動きをつくる運動「レッツぐるぐる」での輪を使った学習では、工夫した動きがたくさん見られた。飽きることなく、どんな動きができるのか考えながら学習に取り組むことができた。学習にのめり込み、体を動かして汗をかくことに心地よさを感じる児童が多い。

9月に運動会があり、休み時間に音楽をかけると、自由に踊って楽しめる児童がたくさんいたが数名は音楽を聴いても踊ろうとはしなかった。

本単元では、音楽に合わせて身体を動かすことを好む児童がいる一方で、動き方が分からず立ち尽くしてしまう児童がいることが予想される。そこで、まずは心と体をほぐし、音楽がなったら自然と体が動き出せるような学習を展開したい。児童のよい動きを共有し、教師の言葉掛けで動きを工夫し、広げていきたい。

(6) 単元の指導と評価の計画 3年 (評価の丸番号は、学習活動に即した評価規準の番号を示す)

時		1 (軽快ロック)	2 (軽快なロック)
指導のねらい		・リズムダンス (軽快なロック) に進んで取り組むことができるようにする。	・ロックのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。
学習活動		<p>○学習の進め方を知る。</p> <p>○心と体をほぐす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体じゃんけん ・猛獣狩り ・ハイタッチ ・円形コミュニケーション <p>○学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">リズムダンスに進んで取り組もう</div> <p>○教師のリードで軽快なロック「ウンタ、ウンタ」のリズム特徴を捉えながら踊る。 習得</p> <p>(1) 教師のまねをする (2) 2人組</p> <p>○リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。2人1組で、互いにリーダーを交代しながらリズムに乗って自由に踊る。 活用</p> <p>○クーリングダウン</p> <p>○学習の振り返り</p>	<p>○心と体をほぐす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円形コミュニケーション ・即興リズムダンス <p>○学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">全身で弾んで即興的に踊ろう</div> <p>○教師のリードで軽快なロックの曲で踊る。 習得</p> <p>※1時間目とは違うロックの曲で踊る。どんな曲でもリズムに乗れることを知る。</p> <p>(1) 教師のまねをする (2) 2人組</p> <p>○リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後2人組で即興的に続けて踊る。タンバリンの合図でペアを変えていろいろな友達とかかわる。 活用</p> <p>○クーリングダウン</p> <p>○学習の振り返り</p>
評価の重点	関・意・態	①③	
	思考・判断	①	
	技能		①
児童の具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> ・運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ることができる。 ・動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おへそを意識した動きができています。 ・ロックのリズムの特徴をとらえることができています。

3 (サンバ)	4 (サンバ)
<ul style="list-style-type: none"> ・だれとでも気持ち良く踊ったり、交流したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ○心と体をほぐす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイタッチ ・円形コミュニケーション ○学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体をほぐす。 <ul style="list-style-type: none"> ・猛獣狩り ・即興リズムダンス ○学習課題を確認する。
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">サンバの特徴やポイントを知り、よい動きを見付けよう</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">サンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ろう</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○教師のリードでサンバ「ウンタッタ、ウンタッタ」のリズム特徴を捉えながら踊る。 習得 (1) 教師のまねをする (2) 2人組 ○リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。2人1組で、互いにリーダーを交代しながらリズムに乗って自由に踊る。 活用 ○クーリングダウン ○学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師のリードでサンバの曲で踊る。 習得 ※3時間目とは違うサンバの曲で踊る。どんな曲でもリズム(サンバ)に乗れることを知る。 (1) 教師のまねをする (2) 2人組 ○リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンバリンの合図でペアを変えていろいろな友達とかかわる。 活用 ○クーリングダウン ○学習の振り返り
②	
①	
	①
<ul style="list-style-type: none"> ・サンバの特徴や動きを理解している。 ・運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンバの特徴をとらえることができている。

時	5 (軽快ロックとサンバ)	6 (リズムダンス交流会)	
指導のねらい	・ロックとサンバのリズムダンスの特徴をとらえて全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。	・よい動きを知り、友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れることができるようにする。	
学習活動	<p>○心と体をほぐす。</p> <p>・即興リズムダンス</p> <p>○学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ろう </div> <p>○教師のリードで軽快なロック、サンバのリズム特徴を確認しながら踊る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">習得・活用</div> <p>○リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンバリンの合図でペアを変えていろいろな友達とかかわりながら踊る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">活用</div></p> <p>○ミニ交流会 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究</div></p> <p>※ロックとサンバどちらで踊りたいか決めておく。また、使う曲もロックとサンバで1曲決めておき、即興的に自由に踊る。</p> <p>○クーリングダウン</p> <p>○学習の振り返り</p>	<p>○心と体をほぐす。</p> <p>・即興リズムダンス</p> <p>○学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 友だちのよい動きを自分のリズムダンスに取り入れよう </div> <p>○交流会 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究</div></p> <p>・あらかじめ交流会で使いたい曲を決めておく。</p> <p>・ハイタッチをする。</p> <p>・偶然できた2人組でこれまでの学習で身に付けてきたお気に入りの動きや変化を組み合わせて1グループ1分程度の即興ダンスにまとめる。(まとめる時間を5分程度とる)</p> <p>※交流会は、近くにいるグループとペアになり、互いに考えた動きを披露する。一方が披露している時ペアはまねをする。</p> <p>○クーリングダウン</p> <p>○学習の振り返り、まとめ</p>	
評価の重点	関・意・態		②
	思考・判断	①	②
	技能	①	
児童の具体的な姿	<p>・ロックやサンバのリズムの特徴をとらえることができる。</p> <p>・楽しく踊るための動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。</p>	<p>・運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ることができる。</p> <p>・友達のよい動きを見付け、自分の動きに取り入れている。</p>	

(7) 一単位時間の流れ ※第1時～第6時の音楽に関しては10月6日現在で考えたもの

第3学年 表現リズムダンス「レッツ豊葉ダンシング」 第1時

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 学習の進め方を知る。</p> <p>2 心と体をほぐす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体じゃんけん ○猛獣狩り ○ハイタッチ ○円形コミュニケーション <p>♪ブギーマン</p> <p>3 学習課題の確認をする。</p>	<p>○単元の流れを説明する。</p> <p>○学習の流れを掲示し、分かりやすくする。</p> <p>○円形コミュニケーションでは、体幹部（おへそ）の動きを意識するように言葉掛けをする。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>リズムダンスに進んで取り組もう</p> </div> <p>4 教師のリードで軽快なロック「ウンタ、ウンタ」のリズム特徴を捉えさせながら踊る。</p> <p>習得</p> <p>(1) 教師のまね</p> <p>(2) 二人組</p> <p>※ここでは、いろいろな振りをリズムよく行い、空間、体、リズム、人間関係の変化を意識しながら取り組む。</p> <p>※二人組でも同様に行う。</p> <p>♪Everybody Jam!</p> <p>♪JOY</p> <p>♪以心伝心</p>	<p>○ロックの弾みや後打ち「ウンタウンタ」のリズムの特徴を説明する。</p> <p>○教師のまねをさせる。</p> <p>○2人組は「ハイタッチ」で決める。</p> <p>○子どもの動きが広がるように動きに変化をつけられるような言葉掛けを以下の観点でする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる ・回る ・跳ぶ ・素早くターン ・ストップモーション ・リズムをくずす・友達と真似し合う ・友達の動きと反対の動き
<p>5 リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後2人組で即興的に続けて踊る。2人1組で、互いにリーダーを交代しながらリズムに乗って自由に踊らせる。活用</p> <p>♪Live While We are Young</p> <p>♪Shake It Off</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>リズムに乗って、おへそを意識して弾もう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○○さんはリズムに乗って動いているね！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○○さんは笑顔で楽しそうに動いているね！</p> </div> <p>◆場の安全を確かめながら踊ろうとしている。</p> <p>○振り返りの視点を明確にする。</p> <p>○よい動きをしていた個人やペアを称賛する。</p> <p>◆ロックの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。</p>
<p>6 クーリングダウン</p> <p>7 学習の振り返り</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>今日のベストダンサーは誰だろう？理由も言いましょう！</p> </div>

一単位時間の流れ

第3学年 表現リズムダンス「レッツ豊葉ダンシング」 第2時

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす</p> <p>○円形コミュニケーション ♪ブギーマン</p> <p>○即興リズムダンス ♪SHAKE</p> <p>2 学習課題の確認をする。</p>	<p>○円形コミュニケーションでは、体幹部（おへそ）の動きを意識するように言葉かけをする。</p> <p>○即興リズムダンスでは教師のまねをさせる。</p> <p>○学習の流れを掲示し、分かりやすくする。</p>
<p>全身で弾んで即興的に踊ろう！</p>	
<p>3 教師のリードで軽快なロック「ウンタ、ウンタ」のリズム特徴を捉えながら踊る。</p> <p>習得</p> <p>(1) 教師のまねをする</p> <p>(2) 2人組</p> <p>※ここでは、いろいろな振りをリズムよく行い、空間、体、リズム、人間関係の変化を意識しながら取り組む。</p> <p>※二人組でも同様に行う。</p> <p>♪Scatman's World</p> <p>♪The World is ours!</p>	<p>○ロックの弾みや後打ち「ウンタウンタ」のリズムの特徴を確認する。</p> <p>※1時間目とは違うロックの曲で踊る。どんな曲でもリズムに乗れることを知る。</p> <p>○教師のまねをさせる。</p> <p>○2人組は「ハイタッチ」で決める。1時間目と違うペアで取り組ませる。</p>
<p>4 リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンパリンの合図でペアを変えているいろいろな友達とかかわる。活用</p> <p>♪タマシイレボリューション</p> <p>♪ええじゃないか</p> <p>♪Kiss You</p>	<p>○子どもの動きが広がるように動きに変化をつけられるような言葉掛けを（再度）以下の観点でする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる ・回る ・跳ぶ ・素早くターン ・ストップモーション ・リズムをくずす・友達と真似し合う ・友達の動きと反対の動き <p>※活動の中でよい動きをしている児童を全体に紹介する。</p>
<p>5 クーリングダウン</p> <p>6 学習の振り返り</p>	<p>リズムに乗っているね！動きに変化があるね！</p> <p>指の先までのりのりで踊っているよ。</p> <p>◆ロックのリズムの特徴をとらえて、全身で即興的に踊ることができる。</p> <p>ロックの特徴をとらえて、変化をつけられたかな？</p> <p>ロックの特徴をとらえて、何か変化を取り入れたかな？</p>

一単位時間の流れ

第3学年 表現リズムダンス「レッツ豊葉ダンシング」 第3時

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす</p> <p>○ハイタッチ</p> <p>○円形コミュニケーション</p> <p>2 学習課題の確認をする。</p>	<p>○円形コミュニケーションでは、体幹部(おへそ)の動きを意識するように言葉かけをする。</p>
<p>サンバの特徴やポイントを知り、よい動きを見付けよう!</p>	
<p>3 教師のリードでサンバの曲で踊る。</p> <p>習得</p> <p>(1) 教師のまねをする</p> <p>(2) 2人組</p> <p>※ここでは、いろいろな振りをサンバのリズムを知り、空間、体、リズム、人間関係の変化を意識しながら取り組む。</p> <p>※2人組でも同様に行う。</p> <p>♪A Taca do Mundo e Nossa</p> <p>♪Na Cadencia do Sanba</p> <p>4 リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンバリンの合図でペアを変えている いろな友達とかかわる。</p> <p>活用</p> <p>♪Bara Bara Bere Bere</p> <p>♪カップ・オブ・ライフ</p> <p>♪Samba De Janeiro</p>	<p>○学習の流れを掲示し、分かりやすくする。</p> <p>○サンバのリズム「ウンタッタ、ウンタッタ」のリズムの特徴を説明する。</p> <p>○教師のまねをさせる。</p> <p>○子どもの動きが広がるように動きに変化をつけられるような言葉かけを(再度)以下の観点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる ・回る ・跳ぶ ・素早くターン ・ストップモーション ・リズムをくずす・友達と真似し合う ・友達の動きと反対の動き <p>※この活動を繰り返し行う。やっっていく中でよい動きをしている児童を全体に紹介する。</p> <p>◆誰とでも気持ちよく踊ったり、交流したりしようとしている。</p>
<p>5 クーリングダウン</p>	<p>友だちの動きをまねしてみよう!</p>
<p>6 学習の振り返り</p>	<p>○○さんたちのペアは反対の動きをしているね!</p> <p>◆サンバのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。</p>
<p>友だちの動きを見て、まねしてみたい動きはあったかな?</p>	

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす</p> <p>○猛獣狩り</p> <p>○即興ダンス</p> <p>2 学習課題の確認をする。</p>	<p>○体幹部（おへそ）の動きを意識するように言葉かけをする。</p> <p>○学習の流れを掲示し、分かりやすくする。</p>
<p>サンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ろう！</p>	
<p>3 教師のリードでサンバの曲で踊る。</p> <p>習得</p> <p>(1) 教師のまねをする</p> <p>(2) 2人組</p> <p>※いろいろな振りでサンバのリズムを確認し、空間、体、リズム、人間関係の変化を意識しながら取り組む。</p> <p>※二人組でも同様に行う。</p> <p>♪風になりたい</p> <p>♪Volare</p>	<p>○サンバのリズム「ウンタッタ、ウンタッタ」のリズムの特徴を確認する。</p> <p>○教師のまねをさせる。</p> <p>○2人組は「ハイタッチ」で決める。3時間目と違うペアで取り組ませる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">サンバのリズムになれてきたね！</p> <p>○子どもの動きが広がるように動きに変化をつけられるような言葉かけを（再度）以下の観点とする。</p>
<p>4 リズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンパリンの合図でペアを変えていろいろな友達とかわる。活用</p> <p>※途中でよい動きをしている児童を見付け、動きをみんなで共有する時間をとる。</p> <p>♪Bara Bara Bere Bere</p> <p>♪カップ・オブ・ライフ</p> <p>♪Samba De Janeiro</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる ・回る ・跳ぶ ・素早くターン ・ストップモーション ・リズムをくずす・友達と真似し合う ・友達の動きと反対の動き <p>※この活動を繰り返し行う。やっっていく中でよい動きをしている児童を全体に紹介する。</p> <p>◆サンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">全身で自由に踊ってみよう！</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">リズムに乗っているね！動きに変化があるね！</p>
<p>5 クーリングダウン</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">サンバを踊ってみてどうだった？</p>
<p>6 学習の振り返り</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">サンバの特徴をとらえて、何か変化を取り入れたかな。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">誰の動きがよかったかな？</p>

一単位時間の流れ

第3学年 表現リズムダンス「レッツ豊葉ダンシング」 第6時

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即興リズムダンス <p>2 学習課題を確認する。</p>	<p>○学習の流れを掲示し、分かりやすくする。</p>
<p>友だちのよい動きを自分のリズムダンスに取り入れよう</p>	
<p>3 交流会 探究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイタッチをする。 ・偶然できた2人組でこれまでの学習で身に付けてきたお気に入りの動きや変化を組み合わせ <p>1グループ1分程度の即興ダンスにまとめる。 (まとめる時間を5分程度とる)</p> <p>4 クーリングダウン</p>	<p>○あらかじめ交流会で使いたい曲を決めておく。 ※交流会は、近くにいるグループとペアになり、互いに考えた動きを披露する。一方が披露している時ペアはまねをする。</p> <p>◆友達と励まし合い、誰とでも気持ちよく踊ったり、交流したりしようとしている。</p> <p>◆よい動きを知り、友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れることができるようにする。</p> <p>積極的にハイタッチしているね!</p> <p>〇〇さんは〇〇さんの●●の動きをまねしているね!</p> <p>〇〇さんは〇〇さんと反対の動きをしているね!</p> <p>笑顔で踊っていていいですね!</p>
<p>5 単元のまとめをする。</p>	<p>○単元を通してリズムダンスはどうだったかを話し合う。</p> <p>友だちのどんな動きを自分の動きに取り入れ ましたか?</p> <p>○友達のよい動きを取り入れたかについて話し 合う。</p>

(8) 本時の展開 (5/6)

① ねらい

ロックとサンバのリズムダンスの特徴をとらえて全身で弾んで即興的に踊ることができるようにする。

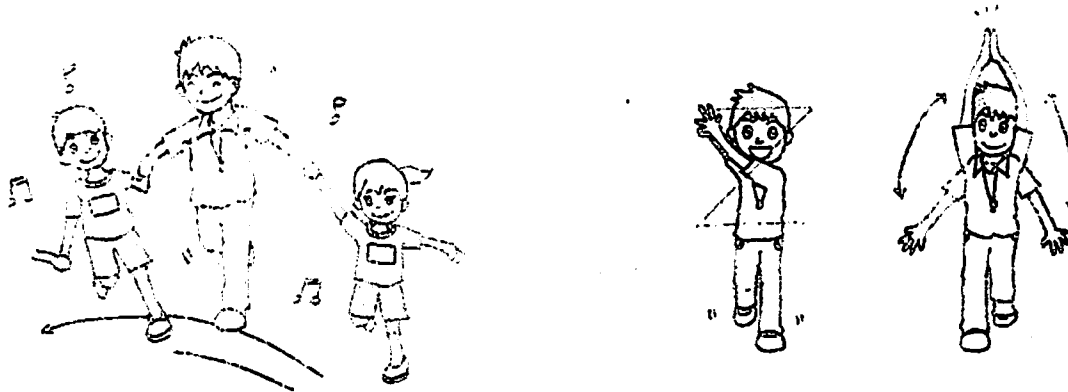
② 展開

学習活動	○教師の指導支援 ◆評価
<p>1 心と体をほぐす ○即興リズムダンス</p> <p>2 学習課題を確認する。</p>	
<p>ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ろう!</p>	
<p>3 教師のリードで軽快なロック、サンバのリズム特徴を確認しながら踊る。【習得・活用】</p> <p>4 ロックとサンバのリズムの特徴をとらえた動きで、はじめは1人で行う。その後、2人組で即興的に続けて踊る。タンバリンの合図でペアを変えていろいろな友達とかかわる。 【活用】</p>	<p>○ロックの弾みや後打ち「ウンタウンタ」のリズムの特徴を確認する。</p> <p>○サンバのリズム「ウンタッタ、ウンタッタ」のリズムの特徴を確認する。</p> <p>○リズムに乗れない、踊り方が分からない児童は教師のまねをさせる。</p> <p>○曲はロックとサンバを交互に流す。</p> <p>○子どもの動きが広がるように動きに変化をつけられるような言葉掛けを(再度)以下の観点でする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変える・ねじる ・回る ・跳ぶ ・素早くターン ・ストップモーション ・リズムをくずす・友達と真似し合う ・友達の動きと反対の動き <p>※この活動を繰り返し行う。やっていく中でよい動きをしている児童を全体に紹介する。</p> <p>◆リズムの特徴をとらえて全身で弾んで即興的に踊ることができている。【技能】(観察)</p>
<p>5 ミニ交流会 【探究】</p> <p>※あらかじめロックとサンバどちらで踊りたいか決めておく。また、使う曲もロックとサンバで1曲決めておき、即興的に自由に踊る。</p>	<p>どんなところをまねしたいと思った?</p> <p>〇〇さんは全身で踊っているね!のりのりだね!</p> <p>髪の毛まで踊っている感じがするね!</p> <p>ロックとサンバでダンスに変化があるね!</p> <p>○ロックとサンバの特徴をとらえて全身を使って動いていた児童を称賛する。</p>
<p>6 クーリングダウン</p> <p>7 学習の振り返り</p>	<p>誰のどんな動きがよかったかな?</p>

〈資料〉学習活動の流れ (2時の例)

心と体をほぐす

○円形コミュニケーション…円をつくり、児童は教師のまねをしてリズムをとる。

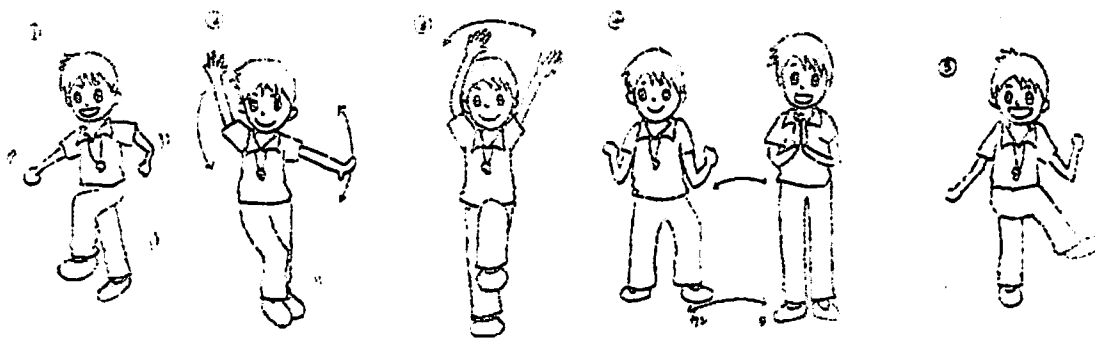


教師のリードで軽快なロックのリズムでおどる。

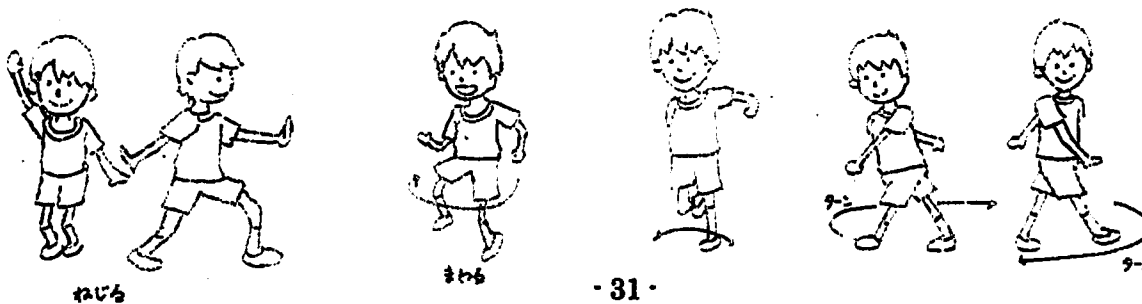
○ 安座で「ウンタ、ウンタ」のリズムをとる。児童は、教師の動きをまねる。



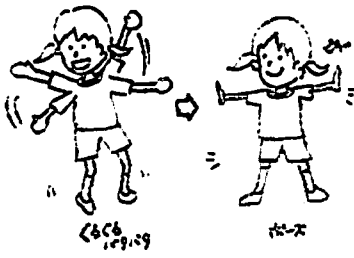
○ 立位で「ウンタ、ウンタ」のリズムをとる。児童は、教師の動きをまねる。



○ 動きに変化をつける。※児童の絵で表示。(教師の動きをまねる。)



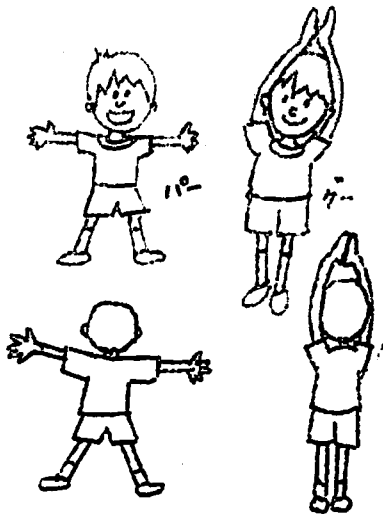
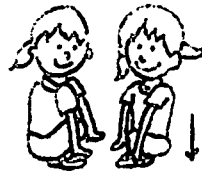
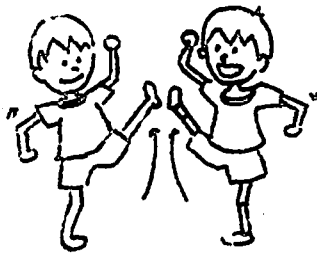
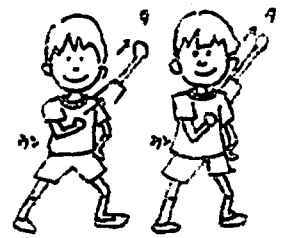
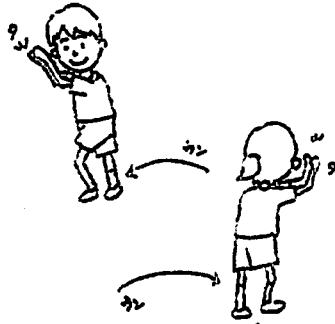
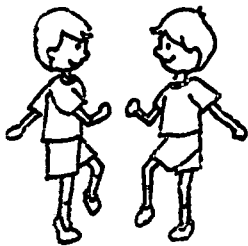
○ リズムの変化をつける。



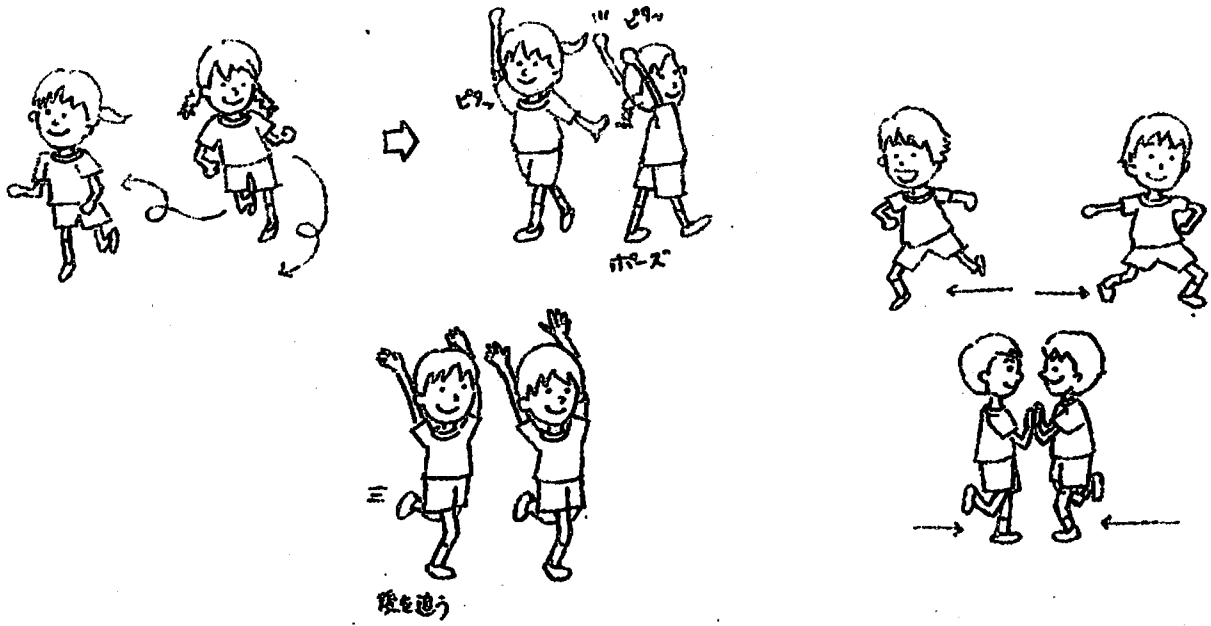
○ いろいろなポーズ



○ 2人組でおどる。(対面)



○ 2人1組でかかわりの変化をつける。



2人1組で即興的におどる。

クーリングダウン

